

# 株主通信

平成28年1月1日 ▶ 平成28年3月31日

世界中の人々の夢と感動のため

私たちは常にチャレンジします

証券コード: 9726

## T O P M E S S A G E

株主の皆さまには平素格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、平成28年3月31日をもって第79期(決算期変更のため、平成28年1月1日から平成28年3月31日までの3か月間)の決算を行いましたので、ご報告申し上げます。

代表取締役社長  
戸川 和良



### 事業の概況

#### 連結業績

売上高 **84,971**百万円

営業損失 **2,651**百万円

経常損失 **2,645**百万円

親会社株主に  
帰属する  
当期純損失 **1,843**百万円

当社は近畿日本ツーリストのブランド力、広範な販売ネットワークとクラブツーリズムの優れたマーケティング力、商品企画力を掛け合わせた「統合シナジー」の最大化を図りつつ、本年2月に策定した平成30年度までの中期経営計画に基づく各種の施策を推し進めました。

まず、スポーツ事業におきましては、3月31日に公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と東京2020大会オフィシャル旅行サービスパートナー契約を締結し、東京2020オリンピック・パラリンピック大会に向けたマーケティング活動および営業活動を本格的に始動しました。また、近畿日本ツーリスト株式会社では、少子化による教育旅行市場の縮小や訪日旅行客の急増、観光による地方創生需要の増大など、団体旅行事業を取り巻く環境の変化に対応するため、成長分野である訪日旅行事業、スポーツ事業および地域誘客交流事業に経営資源をシフトする事業構造改革を推進しました。

これらの諸施策を含め、各事業において鋭意戦略的な営業活動に取り組みましたが、当連結会計年度は、年間で旅行需要が最も落ち込む時期に当たることもあり、連結業績は左記のとおりとなりました。このような状況から、誠に遺憾ではございますが期末配当は見送らざるを得ない状況でございます。

株主の皆さまには深くお詫びを申し上げますとともに、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

### セグメント別の概況

#### 個人旅行事業

売上高

**50,232**百万円

営業損失

**1,316**百万円

近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社は、国内旅行商品「メイト」および海外旅行商品「ホリデイ」を通じて、多様化するお客さまのニーズにお応えするとともに、日本ならびに世界各国の歴史、伝統文化、自然などに触れる旅、こだわりとオリジナリティに富んだテーマ旅行など高品質・高付加価値商品の充実に努めました。また、Web販売においては、インターネット予約サービス「e宿」(いーやど)において、8人から20人規模のグループに最適な宿泊施設をお勧めする「e宿グループ旅」を開始し、Web販売比率の向上に努めました。このほか商品面では、世界の秘境地域にも手軽にご旅行いただけるよう、2名での催行を保证する「世界の絶景 特選の旅」の販売を開始しました。

クラブツーリズム株式会社では、同社の強みであるテーマ性を重視した旅やセミナーに注力し、1月から3月にかけて東名阪各地区で「クラブツーリズム文化祭“旅フェスタ”」を開催したほか、3月には営業開始前の東京タワー大展望台を貸切にし、働く世代、シニア層の朝活を応援する講座「東京タワー

中面に続く

ではじめる学び」など斬新な企画商品を販売しました。また、四季折々の地域の魅力と地元との触れ合いを大切に「地域交流の旅」カタログを3月に発刊し、地元とタイアップした付加価値の高いツアーの紹介を行いました。

さらに、高齢化社会を迎え今後も需要の拡大が期待できるバリアフリー旅行では、3月にご紹介フェア「いつまでも旅が好き」を開催、ゆったりと杖・車いすで楽しむ旅などを紹介し、好評を博しました。

このほか、新規事業として新感覚フィットネスクラブ「Terras(テラス)」の2号店(東京都三鷹市)を2月に、3号店(神奈川県川崎市)を3月にそれぞれオープンしたほか、春の旅をテーマにしたテレビコマース「ようこそ、大人旅へ。」を放映し、引き続きブランド認知度の向上に努めました。

訪日旅行事業においては、アジアを中心に大手旅行会社やオンラインエージェントとの連携を広げるとともに、訪日旅行者の行先分散化に対応して多方面のツアーを販売し、春節期間を中心に取扱額を増加しました。

## 団体旅行事業

売上高

16,960百万円

営業損失

1,166百万円

近畿日本ツーリスト株式会社では、大都市における法人・団体等への提案型営業に注力するかわら、東京2020オリンピック・パラリンピック大会以降の団体旅行事業を見据えた事業構造改革に取り組みました。具体的には、成長分野である訪日旅行事業、スポーツ事業および地域誘客交流事業に経営資源を投下すべく、1月に「グローバルマーケティング事業部」および「東京オリンピック・パラリンピック事業推進部」を新設し、4月には従前の「地域誘客事業部」の業務内容を拡充して、名称を「地域誘客交流事業部」に改めました。

本年8月のリオデジャネイロ2016オリンピック・パラリンピック大会に向け、活気を見せるスポーツ事業では、同大会の観戦ツアー国内取扱指定旅行会社として様々な営業活動を展開しました。また、昨年に続き「東京マラソン2016」や「春の高校バレー」を取り扱い、「東京マラソン2016」では外国人ランナーと日本人ランナー等の交流を図るイベント「東京マラソンフレンドシップラン2016」を受託運営し、外国人ランナー約900名を含む合計約1,400名の参加者にお楽しみいただきました。

このほか、地域誘客交流事業の一環として「信州上田真田丸大河ドラマ館」の入場券の販売管理および運営業務を受託し、当初予想を上まわるお客さまにお越しいただいております。

## その他

北海道、東北、中国四国、九州の各地域旅行会社におきましては、地域に密着したきめ細かい営業活動を展開し、地域のお客さまのニーズに応じてまいりました。

売上高

17,713百万円

営業損失

279百万円

## 今後の事業方針

当社グループは、中期経営計画に基づき将来の事業基盤構築のため、成長領域へと事業シフトを図り、様々なビジネスチャンスに的確に捉えてまいります。

特に、自治体との提携により地域のイベントや観光を活性化し、旅行者やビジネス客を誘致する地域誘客交流事業は、政府の掲げる観光立国や地方創生に呼応する成長分野であり、大きなビジネスチャンスにつながります。当社グループでは全国に張り巡らす支店網を強みにして、地域のスポーツイベントの運営を受託するなどスポーツを通じた地域活性化のお手伝いをし、あるいは訪日外国人の送客により地域に貢献することなどにより、成長分野として注力する訪日旅行事業、スポーツ事業および地域誘客交流事業の三事業を有機的に連携させ、事業の拡大を図ってまいります。

個人旅行事業におきましては、近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社では、前例にとらわれない自由な発想で個性的な商品造成に努めるとともに、店頭におけるお客さまサービスのさらなる向上を図るため、旅先の情報に詳しい専門スタッフがテレビ電話を通じてご案内する「旅のコンシェルジュ」を増設します。また、そのための社内資格制度として、「カリスマデザイナー」を創設し、国内外の旅行先情報に長けたプロを拡充してまいります。加えて、人気旅行のモデルコースや観光素材をデータベース化する「Qティ」を立ち上げ、より一層お客さまのお問合せに即答できる態勢を築いてまいります。

クラブツーリズム株式会社では、シニア層の知的欲求を満たす写真撮影やスケッチ、歴史探訪等のテーマ旅行を核とし、市場拡大が見込めるイベントやチャーター企画、大人の社会科見学ツアー、ラグジュアリー商品等を加えた「テーマ型商品」を成長戦略の中心と位置づけ強化してまいります。また、主要顧客であるシニア層により快適な旅行を提供するため、化粧台とトイレを備え、足が伸ばせるゆったり仕様の専用貸切バス「クラブツーリズム号」の台数拡大を図るほか、今後さらに増加が見込まれる75歳以上の世代に配慮した「誰にでもやさしい旅」等ユニバーサルデザイン商品の拡充に注力します。

団体旅行事業におきましては、引き続き、企業、学校、官公庁などのお客さまを対象に、近畿日本ツーリスト株式会社が持つ高い専門性とホスピタリティでお客さまのニーズを先取りするサービスを提供してまいります。そして、いよいよ本年8月に開催されるリオデジャネイロ2016オリンピック・パラリンピックでは、観戦ツアーの国内取扱指定旅行会社として大会の成功に貢献してまいります。

当社におきましては、以上の施策を迅速かつ確実に実行し、グループ全体の業績向上を図るとともに、コンプライアンスの徹底、内部統制の強化を図り、コーポレートガバナンスの向上に努めてまいりますので、株主の皆さまにおかれましては、今後とも何卒倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# TOPICS

トピックス

## 東京2020オリンピック・パラリンピック大会 オフィシャル旅行サービスパートナーに決定

～旅行会社ならではのホスピタリティで、  
スポーツを愛する多くの皆さまの夢を応援します～

KNT-CTホールディングスは、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と東京2020大会オフィシャル旅行サービスパートナー契約を締結しました。

当社グループは、これまで長年にわたり、日本オリンピック委員会(JOC)の公式旅行代理店として、一般のお客さまのみならず、選手団やそのご家族、関係者向けのご旅行の取扱いをしてきました。また、2014年ソチ冬季オリンピックでは車いすを利用するお客さまがご参加いただけるバリアフリーツアーを企画するなど、数多くのお客さまの観戦をお手伝いしてきました。

当社グループはこれを機に、東京2020オリンピック・パラリンピックを待ち望まれる全てのお客さまに、4年に一度のアスリートの躍動を体感いただけるよう、グループならではの観戦ツアーの企画に取り組みまいります。また、2020年に向けて、スポーツを通じた地域振興に貢献し、オリンピック・パラリンピックへの機運を盛り上げてまいります。どうぞ当社の取組みにご期待ください。



東京2020オフィシャルパートナー(旅行サービス)



オフィシャルパートナー発表会見の様相

## 行きたい日が出発日! お二人での出発を保証する「世界の絶景 特選の旅」



ギアナ高地のエンジェルフォール、バヌアツのヤスール火山など、一度は行ってみたいけど個人旅行にはハードルが高い世界の「秘境」——。そんな場所へ少人数でも行けるツアーが、近畿日本ツーリスト個人旅行から発売されました。「思い立ったら旅に出られる」というコンセプトで、海外企画旅行商品「ホリデー」で展開しています。

この商品では、「秘境」と称される地域を含む、これまで個人旅行ではあまり取り扱っていない9つの目的地を設定しました。「2名催行保証」のため、ツアーキャンセルの心配もなく、安心して旅の計画が立てられますので、どうぞご利用ください。

## 地域と触れ合う、地域を応援する旅をカタログに 地域の人々と一緒につくる「地域交流の旅」

クラブツーリズムは、新しいカタログ「地域交流の旅47都道府県」を発刊しました。四季折々の地域の魅力と地元の人々との触れ合いをテーマに自治体とタイアップしたツアーを紹介しています。

すでにクラブツーリズムでは、38の地域で一県周遊型ツアー「一県の価値ある旅」を実施しています。これらの実績をもとに、今後も地域交流の旅を通じた地域貢献を目指します。



## 「信州上田真田丸大河ドラマ館」運営を受託 特別企画として夜間貸切見学も開催



近畿日本ツーリストは、大河ドラマ「真田丸」のセットや衣装などを展示する「信州上田真田丸大河ドラマ館」(長野県上田市)の運営業務をNHKプロモーションと共同で受託し、施設への誘客を進めています。

4月には上田城千本桜まつりに合わせて同館の夜間貸切見学を企画し、近畿日本ツーリスト個人旅行の国内企画旅行商品「メイト」やクラブツーリズムのツアーで夜桜鑑賞と組み合わせたコースを設定しました。このほか「メイト」では信州上田や大阪などを巡る「真田幸村ゆかりの地を巡る旅」を、クラブツーリズムでは同館の見学と観光・温泉を組み合わせたツアーを販売するなどグループ連携による取組みを進めています。同館は1月の開館以来5か月で、累計来館者数が30万人を突破しました。

なお、近畿日本ツーリストでは、もうひとつの真田の舞台・群馬県沼田市で開催中の大河ドラマ展「上州沼田 真田丸展」でも運営業務を受託しています。



信州上田真田丸大河ドラマ館

## 会社概要 (平成28年3月31日現在)

商号	KNT-CTホールディングス株式会社
設立	昭和22年5月
創立	昭和30年9月
本社	東京都千代田区東神田一丁目7番8号 電話番号 (03)6891-6840
資本金	7,918百万円
発行済株式総数	271,397,635株

## 取締役および監査役 (平成28年6月22日現在)

取締役会長	小林 哲也	取締役	池畑 孝治	取締役	石崎 哲
代表取締役社長	戸川 和良	取締役	斉藤 篤史	取締役	間瀬 茂
代表取締役	岡本 邦夫	取締役	西本 伸一	監査役(常勤)	馬越 俊司
専務取締役	西崎 一	取締役	小山 佳延	監査役(常勤)	今井 克彦
取締役	中村 哲夫	取締役	田ヶ原 聡	監査役	岸田 雅雄
取締役	加藤 真人	取締役	西野目 信雄	監査役	平野 雅大

## 株主メモ

単元株式数	1,000株
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで (ただし、第79期は平成28年1月1日から平成28年3月31日までの3か月)
基準日	定時株主総会関係 3月31日 期末配当支払株主確定関係 3月31日 中間配当支払株主確定関係 9月30日 その他 あらかじめ公告する日
定時株主総会 公告方法	6月中 電子公告 <a href="http://www.kntcthd.co.jp/ir/e-koukoku.html">http://www.kntcthd.co.jp/ir/e-koukoku.html</a> ただし、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎(0120)232-711

## 株式に関するお手続きについて

特別口座に記録された株式		お問合せ先
お手続き、ご照会等の内容	特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎(0120)232-711
<ul style="list-style-type: none"> <li>特別口座から一般口座への振替請求</li> <li>単元未満株式の買取請求</li> <li>住所・氏名等のご変更</li> <li>特別口座の残高照会</li> </ul>	株主名簿管理人	<b>[手続き書類のご請求方法]</b> 音声自動応答電話によるご請求 ☎(0120)244-479 インターネットによるダウンロード <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>
証券会社等の口座に記録された株式		お問合せ先
お手続き、ご照会等の内容	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎(0120)232-711
<ul style="list-style-type: none"> <li>郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>株式事務に関する一般的なお問合せ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記以外のお手続き、ご照会等</li> </ul>	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

## 免責事項

本株主通信に掲載している将来に関する予想については、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、異なる場合があることをご承知おきください。

## 株主優待制度のご案内

毎年3月末および9月末現在、当社株式を1,000株以上ご所有の株主さまに対し、ご旅行優待券を2枚贈呈いたします。

### 対象商品

「メイト」「ホリデイ」「クラブツーリズムの旅」の各企画旅行商品



### 発行時期および有効期限

	発行時期	有効期限
3月末現在の株主さま	6月下旬	12月末日まで
9月末現在の株主さま	12月上旬	翌年6月末日まで

### ご旅行優待券のご利用枚数と割引額

1回のご旅行につきツアー本体価格に応じてつぎの金額を割引

1 平成28年6月送付分(平成28年3月末現在の株主さまへの贈呈分)まで

1枚のご利用の場合	ツアー本体価格		割引額	
	30,000円以上	100,000円以上	1,500円	5,000円
2枚同時にご利用の場合	60,000円以上		400,000円以上	
	3,000円		20,000円	

2 平成28年12月送付分(平成28年9月末現在の株主さまへの贈呈分)以降

株主の皆さまに、株主優待制度をより利便性の高いものとするため、以下のとおり一部変更いたしました。

1枚のご利用の場合	ツアー本体価格		割引額	
	30,000円以上	50,000円以上	1,500円	2,500円
2枚同時にご利用の場合	300,000円以上		400,000円以上	
	15,000円		20,000円	